

令和5年度 「豊かなむらづくり全国表彰事業」 東北ブロック受賞事例

農林水産大臣賞

(内閣総理大臣賞 受賞)

おいでよ！そばに 棚田と清水、摩耶の里・こえさわ

○団体名 越沢自治会（会長 伊藤 治）

○所在地 山形県 鶴岡市

○むらづくりの背景・経緯

少子高齢化による人口の減少や転出者が目立ち始めたことから、集落の存続に危機感を抱いた住民が「越沢自治会活性化委員会」を組織し、地域の将来像を描く「越沢活性化ビジョン」を策定することになった。

策定にあたり、中学生以上の住民全員を対象としたアンケート調査を実施し、①暮らしの不安解消、②魅力磨きと賑わい創出、③特産物のブランド化・販路拡大などの柱からなる行動計画を作成し、実践・実現を目指し住民全員参加のむらづくりが進められている。



越沢自治会メンバー等

○むらづくりの内容

(1) 農業生産面

集落内には古くから自家採種による地そばと呼ばれる「三角そば」が栽培されており、平成28年に在来作物として確認されたことを契機に「越沢三角そば」としてブランド化の取組が始まり、地域の在来作物のそばを来訪して味わっていただきたいことから、打ち立てのそばは「そば処まやのやかた」だけで提供している。

また、「越沢三角そば」を安定的に提供するため、経費を算定したうえで買取可能価格を計算し、越沢自治会が1kg当たり450円の固定価格で全量買い取ることとし、生産者も安定した収入が得られる仕組みが構築されている。



そば処まやのやかた

(2) 生活・環境整備面

豊かで美しい原風景を後世につなげていくため、やまがたの棚田20選の「越沢の棚田」や里の名水・やまがた百選の「郷清水」の環境整備を定期的に行うとともに、集落内での行事や風景写真を収めた「越沢カレンダー」を作成し全戸へ配付している。

冬期には「雪下ろし協力隊」を結成し、屋根の雪下ろしが困難な高齢者世帯を対象に除雪を実施している。

「そば処まやのやかた」では、集落内の女性が休日を活用し輪番制で調理・配膳等を行っており、女性目線のアイデアを活かしながら、そばを核として豊かな自然を最大限活用し、住民参加による活気あるむらづくりを推進している。



やまがたの棚田20選  
「越沢の棚田」



まやのやかた女性スタッフ